

# 主治医研修

## (3) 主治医意見書の具体的な記載方法4 生活機能サービスに関する意見

# 生活機能とサービスに関する意見

## 移動（屋外歩行）

|            |                                                                                          |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自立         | 自分だけで屋外を歩いている状態。歩行補助具や装具・義足を用いている場合も含みます。外出するようには促しが必要でも、屋外は一人で歩いている場合も含みます。             |
| 介助があればしている | 介護者と一緒に屋外を歩いている状態。直接介助されている場合だけでなく、そばで見守っている場合も含みます。                                     |
| していない      | 屋外歩行をしていない状態。<br>歩こうとすれば歩けるが実際は歩いていない場合や、訓練の時だけ屋外歩行をしている場合を含みます。また車いすで屋外を移動している場合等を含みます。 |

## 移動（車いすの使用）

|         |                                                                                                     |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 用いていない  | 全く使用していない状態                                                                                         |
| 主に自分で操作 | 車いすを用いることがあり、その場合は主に自分だけで操作（駆動）している状態。<br>主に室内での状態で判断し、例えば室内は自分だけでこいでいるが、屋外は後ろから押してもらっている場合なども含みます。 |
| 主に他人が操作 | 車いすを用いていることがあり、その場合は主に他人に操作（押してもらう等）してもらっている状態。操作時に見守りを必要とする場合を含みます。                                |

# 生活機能とサービスに関する意見

## 栄養食生活

要介護状態の改善・重症化予防の観点から、低栄養に関連する要因として考えられる食事行為、総合的な栄養状態を評価する。

## 食事行為

|                  |                                           |
|------------------|-------------------------------------------|
| 自立ないし何とか自分で食べられる | 自分一人で、ないし、見守り・励まし、身体的援助によって、自分で食べることができる。 |
| 全面介助             | 他の者の全面的な介助が必要である。                         |

## 現在の栄養状態

|    |                                                                                                                                                                                                                                |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 良好 | ①過去6ヶ月程度の体重の維持（概ね3%未満）、②BMI（体重(kg)/身長 <sup>2</sup> (m <sup>2</sup> )) 18.5以上、③血清アルブミン値が明らかである場合には、3.5g/dlを上回る、の3項目全てが該当する状態。<br>上記指標が入手できない場合には、食事行為、食事摂取量（概ね3/4以上）、食欲、顔色や全身状態（浮腫、脱水、褥瘡などがない状態）から総合的に栄養状態が良いと判断される状態。          |
| 不良 | ①過去6ヶ月程度の体重の減少（概ね3%以上）、②BMI（体重(kg)/身長 <sup>2</sup> (m <sup>2</sup> )) 18.5未満、③血清アルブミン値がある場合には、3.5g/dl以下、の3項目のうち1つでも該当する状態。<br>上記指標が入手できない場合には、食事行為、食事摂取量（概ね3/4以下）、食欲、顔色や全身状態（浮腫、脱水、褥瘡などがある状態）から総合的に栄養が不良又は不良となる可能性が高いと判断される状態。 |

# 生活機能とサービスに関する意見

## 現在あるかまたは今後発生の可能性の高い状態とその対処方針

- ・ 現在または今後概ね 6 ヶ月以内に発生する可能性が高い状態があればレ点をつける。
- ・ 具体的な状態と緊急時も含めた対応方針について要点を記入する。

## サービス利用による生活機能の維持・改善の見通し

現在の状態から、概ね 3 ヶ月から 6 ヶ月間、申請者が介護保険によるサービス（予防給付等によるサービスを含む）やその他の高齢者に対するサービスを利用した場合に、どの程度生活機能の維持・改善の見通しについて該当する箇所にレ点をつける。

※傷病の症状としての見通しではなく、生活機能の維持・改善がどの程度期待できるかに留意する。